

日本発の文化価値を世界へ 文化支援の取り組みが評価され、ルミネがカンヌ映画祭「CANNES GALA」に参画 — 都市と文化をつなぐ、新たな挑戦 —

株式会社ルミネ（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：表輝幸）は、フランス・カンヌで開催されるカンヌ映画祭公認の社交会「CANNES GALA」に、これまでの文化支援の取り組みが評価され参画することとなりました。本セレモニーは、2026年5月17日（現地時間）に開催され、映画・テクノロジー・ビジネスの分野において次世代の文化産業を担う個人・企業を顕彰する国際的な招待制イベントです。

本参画を通じ、ルミネは文化を支える企業としての姿勢を国際社会に発信してまいります。

わたしらしくをあたらしく
LUMINE

参画の背景

① 日本が目されるタイミングでの発信

本年のカンヌ映画祭では、日本が「主賓国 Country of Honour」に選出され、経済産業省も支援しています。こうした国際的な注目の機会において、ルミネは“文化を支える企業”としての姿勢を発信します。

② 都市と文化をつなぐ企業としての役割

ルミネは、都市におけるライフスタイルの提案と価値創出を通じて、人・モノ・体験をつなぐ場を創出してきました。今回の参画は、映画・コンテンツ産業との接点を広げ、都市と文化の新たな関係性を提示する取り組みです。

③ 国内外の拠点をつなぐ動き

2026年3月にグランドオープンした「ニューマン高輪」と、2026年6月にパリで開催予定のPOP-UP「tokyo sense」をはじめとした海外展開を通じ、ルミネは日本発の文化価値を世界へ発信していきます。

■ルミネ パリPOP-UP「tokyo sense」

2026年6月14日（日）～7月7日（火）

16 Rue des Minimes, 75003 Paris, France

POP-UP会場では、CANNES GALAに関連した映像コンテンツを上映予定です。都合により変更になる場合がございます。

■CANNES GALA について

開催：CANNES GALA in collaboration with Marche du Film & Cannes Next

※完全招待制国際セレモニー（授与式・チャリティ・社交交流）

※次世代の映画／コンテンツ産業を担う個人・企業・文化人を顕彰し、支援の循環を生み出す



代表取締役社長 表輝幸 コメント

コンテンツが国境を越えて広がる今、企業には単なる場所の提供を超え、文化の担い手を支え、その価値を社会へと翻訳していく役割が求められています。私たちは、都市という舞台を通じて、映画という至高の表現と人々を再び結び直し、そこから生まれる新たな熱量を世界へ届けたい。困難を楽しみながら、国境を越えた文化交流の新たな1ページを、このカンヌから書き加えてまいります。



関連サイトリンク ルミネ会社概要：<https://www.lumine.co.jp/>

【一般のお客さまからのお問い合わせ先】
ルミネ・ニューマン代表電話：03-5334-0550